



▼7月14日
安全安心のまちづくりに向けて



「松前町・伊予警察署連絡協議会の設立総会」は、役場で開かれました。
同会は、犯罪につながる問題の早期発見や防災など住民の安全を守るための情報共有体制づくりのため、設立されたものです。会では、白石町長が「連携して問題が未然に防げるよう、意見を出し合って体制を作っていきたい」と話し、安全安心のまちづくりに向け、一層の協力を誓いました。

▼7月8日
重信川をきれいに



重信川の水辺を守る会は、中川原橋から出合大橋にかけての重信川流域を清掃しました。
この清掃は、水産多面的機能発揮対策事業の一環として、年2回行われているものです。当日は会員など約30人が参加し、上流から流れてきた流木や、ペットボトルなど捨てられたごみを拾っていきました。参加者は、活動を通じ美化意識を高めていました。

▼6月30日
国体を町全体で盛り上げるために



えがお愛顔つなぐえひめ国体松前町実行委員会の「第1回総務企画専門委員会」は、文化センターで開かれました。
平成29年に開催される国体に向けて、全国から訪れる選手、役員、応援観戦に来る人たちを温かく迎えることができるよう、町民運動と歓迎接伴の計画や協賛の取り扱い、ボランティアの募集方法を審議し、承認されました。

▼6月5日
交通安全の意識を高めるために



「平成27年度松前町交通安全母の会総会」は、役場で開催され、同会役員をはじめ、交通安全指導員が参加しました。
総会では、伊予警察署交通課職員から今年の6月に改正された道路交通法について説明を受けたほか、自転車の安全な乗り方などを学びました。参加者は、普段の自転車の乗り方を振り返り、安全運転への意識を高めていました。

▼7月19日
みんなで楽しく 筒井夏祭り



筒井の夏祭りは、筒井公民館で行われ、子どもから大人まで多くの筒井住民が参加しました。
会場では、地区の各部をはじめ、PTAやサークル有志など、さまざまな人が協力して金魚すくい、かき氷の販売やカブトムシの抽選会を実施。特設されたやぐらでは、盆踊りも行われました。帰りには手作りの餅がおみやげとして振舞われ、地域のみんなで楽しい夏のひとときを過ごしていました。

▼7月9日
まち・ひと・しごとを考える



「第1回松前町まち・ひと・しごと創生推進会議」は、役場で開かれ、産業界、大学、金融機関、マスコミや住民など幅広い立場から10人が参加しました。
同会議は、昨年施行された「まち・ひと・しごと創生法」を受け、人口減少や少子高齢化社会に対応していくために開催したものです。会議では、今後5年間の目標を定める「総合戦略」の策定に向け、町の現状や今後の課題などを意見交換しました。

▼7月7日
みんなで楽しく七夕交流会



二名保育所は、園児の祖父母を招いて七夕交流会を行いました。
交流会では、みんなの願いが込められた短冊や輪飾りなどを手分けして笹に付けた後、色とりどりに飾られた笹の下で、歌を歌ったり踊ったりしました。園児と祖父母たちは、元気に楽しいひとときを過ごして、前日まで降っていた雨を吹き飛ばし、空に願いを届けていました。

▼6月19日
みきゃんと楽しく「えがお体操」



平成29年に開催されるえひめ国体のことを知ってもらおうと、県の国体推進局は、北伊予小学校で「えがお体操」キャラバンを開催しました。
児童たちは、えひめ国体で開催される競技についての話を聞いたり、みきゃんと一緒に、えがお体操をしたりしました。そして、みきゃんとふれあいを楽しみながら、2年後に迫った国体への思いを強めていました。